

情報連絡員総括表（2023年2月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ± 0.0 (=横ばい) で推移
※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 59 名：回収率 98.3%）

○2023年2月のDI値は、前月との比較において、「販売価格」「業界の景況」のみ改善し、その他7指標が悪化した。1月期に大きく落ち込んだ「売上高」は、今回さらに同月を下回った。「収益状況」はマイナス30.5ポイントと厳しい状況が続き、業種を問わず、原材料や資材、エネルギー価格等の高騰が経営を圧迫している。

○「製造業」では、前月との比較において、「販売価格」「収益状況」「業界の景況」の3指標が僅かに上回ったが、その他6指標が悪化した。一部に生産量や稼働率が戻りつつあるとの報告があったものの、原材料やエネルギー価格の高騰、長期化する半導体不足の影響が続く中で厳しい経営を強いられている。

金属製品製造業からは、「原材料・エネルギーの高騰、半導体不足による自動車業界の減産により、収益状況が著しく悪化している」とコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、「売上高」「販売価格」「業界の景況」の3指標が改善し、その他5指標が悪化した。「業界の景況」は18.6ポイント上昇し、コロナ対策の緩和にともない、宿泊業、小売業や旅客運送業等で改善の兆しがみられる。人手不足への対応を課題とする声も高まってきた。

総合工事業からは、「資材の高騰と職人不足による外注費の高止まりによりお客様の予算額に収まらない状況が続いている」とコメントが寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2023年2月	-11.9	11.4	33.9	-15.2	-30.5	-27.1	-16.7	-15.2	-28.8
2023年1月	-10.3	-2.3	29.3	-10.3	-29.3	-22.4	3.4	-12.1	-38.0
増減	-1.6 ↓	13.7 ↓	4.6 ↑	-4.9 ↓	-1.2 ↓	-4.7 ↓	-20.1 ↓	-3.1 ↓	9.2 ↑

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減			DI値	増減			DI値	増減		
売上高	2023年2月	-16.6	-6.6	ポイント	↓	-6.9	3.8	ポイント	↑	-11.9	-1.6	ポイント	↓
	2023年1月	-10.0				-10.7				-10.3			
在庫数量	2023年2月	23.4	16.7	ポイント	↓	-14.3	7.2	ポイント	↓	11.4	13.7	ポイント	↓
	2023年1月	6.7				-21.5				-2.3			
販売価格	2023年2月	30.0	6.6	ポイント	↑	38.0	2.3	ポイント	↑	33.9	4.6	ポイント	↑
	2023年1月	23.4				35.7				29.3			
取引条件	2023年2月	-23.4	-6.8	ポイント	↓	-6.9	-3.4	ポイント	↓	-15.2	-4.9	ポイント	↓
	2023年1月	-16.6				-3.5				-10.3			
収益状況	2023年2月	-40.0	3.3	ポイント	↑	-20.7	-6.4	ポイント	↓	-30.5	-1.2	ポイント	↓
	2023年1月	-43.3				-14.3				-29.3			
資金繰り	2023年2月	-36.7	-6.7	ポイント	↓	-17.3	-3.0	ポイント	↓	-27.1	-4.7	ポイント	↓
	2023年1月	-30.0				-14.3				-22.4			
設備操業度	2023年2月	-16.7	-20.1	ポイント	↓	/				-16.7	-20.1	ポイント	↓
	2023年1月	3.4				3.4							
雇用人員	2023年2月	-13.4	-3.4	ポイント	↓	-17.2	-2.9	ポイント	↓	-15.2	-3.1	ポイント	↓
	2023年1月	-10.0				-14.3				-12.1			
業界の景況	2023年2月	-36.6	0.1	ポイント	↑	-20.7	18.6	ポイント	↑	-28.8	9.2	ポイント	↑
	2023年1月	-36.7				-39.3				-38.0			

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況								
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化							
製造業	食料品	1	1	0	0	2	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	1	0	1							
	繊維工業	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1							
	木材・木製品	1	3	2	0	1	1	0	4	0	5	0	3	0	3	0	1	0	4							
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1							
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0							
	窯業・土石製品	0	2	1	0	2	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0							
	鉄鋼・金属工業	0	3	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	1	1	1	0	3							
	一般機器	1	2	1	1	2	0	0	0	0	3	0	2	1	1	0	1	0	2							
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0							
	輸送用機器	3	2	3	0	1	0	0	1	3	1	0	1	2	1	1	1	2	1							
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
非製造業	卸売業	0	1	1	0	2	0	0	1	0	2	0	1	/				0	0	0	1					
	小売業	2	3	0	2	3	2	0	1	0	3	0	2					0	2	0	2	0	2			
	商店街	1	3	0	1	4	1	0	1	0	1	0	1					0	3	0	3	0	3			
	サービス業	3	0	/				2	0	0	0	3	1					0	1	1	1	3	1			
	建設業	1	1					2	0	1	1	1	2					1	0	0	1	2	1	2	1	2
	運輸業	1	2					1	0	1	0	1	0					1	2	0	1	1	0	1	2	1

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	・魚の不漁による仕入れ価格の高騰、更に電力費・ガス代といったインフラコストの高騰により経営が圧迫され続けている。組合員の稼働もだいぶ落ちており、それに伴い組合共同施設の利用も減少している。この状況が続けば組合・組合員ともに経営が立ち行かなくなってしまう。
パン	・2023年2月28日から3月3日まで第28回モバックショウが幕張メッセで開催された。これは製パン・製菓に関連する専門メーカー・関連業者を中心に239社が集い、パン・菓子生産技術の最新動向、高付加価値な商品開発に繋がる原材料・資材、生産設備を一堂に揃えて行われ、今後のユーザー業界の課題解決に繋がるイベントとなっている。
織物業	・生産コストの上昇。インボイス制度への対応。 ・受注は低位で推移している。浴衣生地を受注期も終盤に入り、前期に比べると多少は良いものの受注数は少ない。業種を問わず諸物価の高騰でコストが業況に大きく影響し利益はほとんど出ていない。正絹物は数は少ないが今のところ堅調に推移。
宗教用具	・2月は取扱い高が前年比マイナス18%となり厳しさが戻ってきた。原材料の価格高騰と、物流費や包装資材の価格上昇が影響しているようである。
製材業、木製品	・2021年初頭からウッドショックにより木材価格が上昇し、同年後半から2022年初夏にかけて高止まりしていた。資材高による住宅価格の上昇から、2022年4～12月期の住宅着工は持ち家が前年同期比で13%も落ち込んだ。木材価格も最高値から4割ほど下がっている現状。組合員工場の稼働もかなり制約を受けている。
骨材・石工品等	・売上低調、在庫増、収益低調、コストアップで厳しい。
金属製品	・原材料・エネルギーの高騰、半導体等の不足による自動車業界の減産により、収益状況が著しく悪化している。 ・エネルギー費用の高騰による経費増。
生産用機械器具	・燃料価格の高騰(電気料金)に苦戦している。 ・従業員が高齢化し、若い人の確保が難しい。 ・材料費等値上げに対して吸収できず収益が落ちている。 ・親会社は上期については厳しい状況が続くが、下期は自動化、脱炭素、生産拠点の再編等で堅調な受注に結び付くとみている。 ・売上は多少戻りつつあるが、電気料金のほか諸資材の高騰が収益を圧迫しており、当面厳しい状況が続く。
電気機械器具	・相変わらず、人手不足問題が継続している。 ・大型冷蔵庫の販売は落ち着いてきており、前年比では減少した。 ・家庭用エアコンと業務用エアコンは輸入部品調達問題があった前年度比では増加した。
輸送用機械器具	・2月に入って長期借入金の固定金利が上昇傾向にある。 ・昨年同月と比較すれば、生産量が増加し稼働率も上がって状況は改善されているが、足元ではエネルギー価格、原材料などの値上がりで経営状況は厳しい。また、半導体の不足による生産計画の変更は続いており、先行き不透明感は払しょくできていない。 ・半導体不足も落ち着き始めている様子、生産調整も落ち着いてきており生産も上向き傾向である。

非製造業

セメント卸売業	・11月より4ヶ月連続で前年実績を大きく下回り、今期は収益的にも厳しい状況にある。
鮮魚小売業	・小売業の売上は、巣ごもり消費が旺盛であった前年より減少。業務卸業も法人客の回復が限定的で売上は伸び悩んだ。また、原材料・電気料金等の上昇に伴うコスト増加により、収益は悪化する見通し。

各種商品小売業	<p>・コロナ禍が長期化したため、商店街・個店としては元に戻ることはないと感じている。今後、どうなるか先が見えない。</p>
	<p>・飲食店舗が2月末で閉店となった。コロナの影響が大きかった。また、原材料の値上げの影響で、販売価格も上昇している。バレンタインデーのチョコレートの販売は好調のようだった。駆け込み申請者のマイナポイントの利用による来店者の増加を期待したい。</p>
	<p>・コロナ対策の規制が徐々に緩和され、今年に入りイベント等もコロナ前と同じように行い始めた。消費意識も以前に比べ高まってきているが、物価高とエネルギー高が懸念材料である。</p>
宿泊業	<p>・国においてマスク着用の緩和が示されたことから、新型コロナウイルス感染症が終息に向かっていると捉え、全国旅行支援による国内需要はもとより、インバウンドも徐々に増加しており、観光の動向は全般的に上向いている。しかしながら、電気料金の値上げなど各種エネルギー問題や食料費の高騰が収益を圧迫している状況となっている。 また、人手不足が続いており、雇用の創出が喫緊の課題となっている。</p>
総合工事業	<p>・新年度着工の予算組をしているが、資材の高騰と職人不足による外注費の高止まりにより、お客様の予算額に収まらない状況が続いている。今後もメーカーは値上げの発表をしているが、商品そのものの売上が下降するようと思われる。</p>
	<p>・建築費自体が大幅に高騰したため、案件の見直しや遅延などが目立って来ている。また、施主との話が中々決まらず受注に至っていないケースが多い。</p>
職別工事業	<p>・行政の後押し、賃上げの風潮もあり、価格交渉はおおむね好循環になっている様子。ただ、この状況がいつまで続くかは注視が必要。雇用状況の改善、新規入職者の獲得に向けて、一層の処遇改善と、価格安定に向けて工夫をしていく。</p>
道路貨物運送業	<p>・2月は車両情報、荷物情報とも昨年比、若干減少した。関東向けは増加したものの、関西向けは大幅に減少した。燃料価格は昨年同時期とほぼ同水準で、高値継続の状況となっている。燃料高、物価高による輸送原価の増加で収益悪化が見込まれる。配送に関し、県内発着・静岡発着の希望が多かったが、これらに拘らない組合員が増加している。</p>
	<p>・2024年問題が広く周知されていることは感じるが、価格に転嫁されているかという点はまだ十分ではない。荷主は商品の価格に反映させてから運賃を上げるのでタイムラグが生じている。</p>
道路旅客運送業	<p>・旅客運送収入は前回は10ポイント程度上回ったものの、依然としてコロナ前の同月よりも30ポイント下回っている。また、コロナ禍中に多くのドライバーが退職し人材不足になっており、増加傾向にある旅客需要への対応に苦慮しているところである。燃料など諸物価の高騰も続いており、まだまだ厳しい状況から抜け出せないことから、人材確保対策や物価高騰対策などの公的支援をお願いしたいところである。</p>

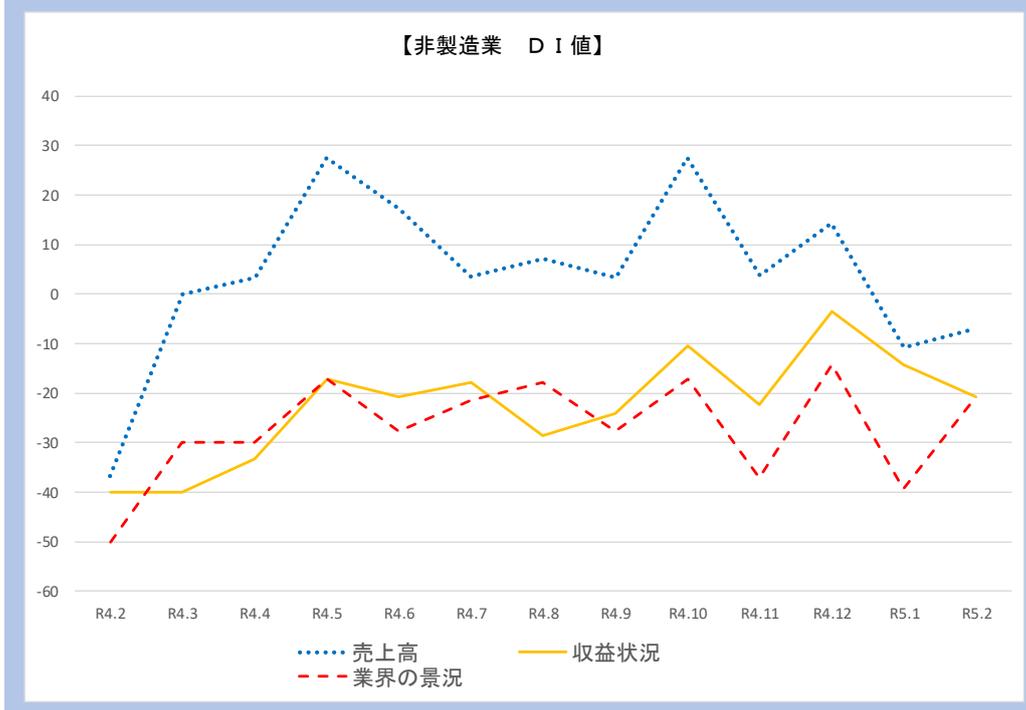
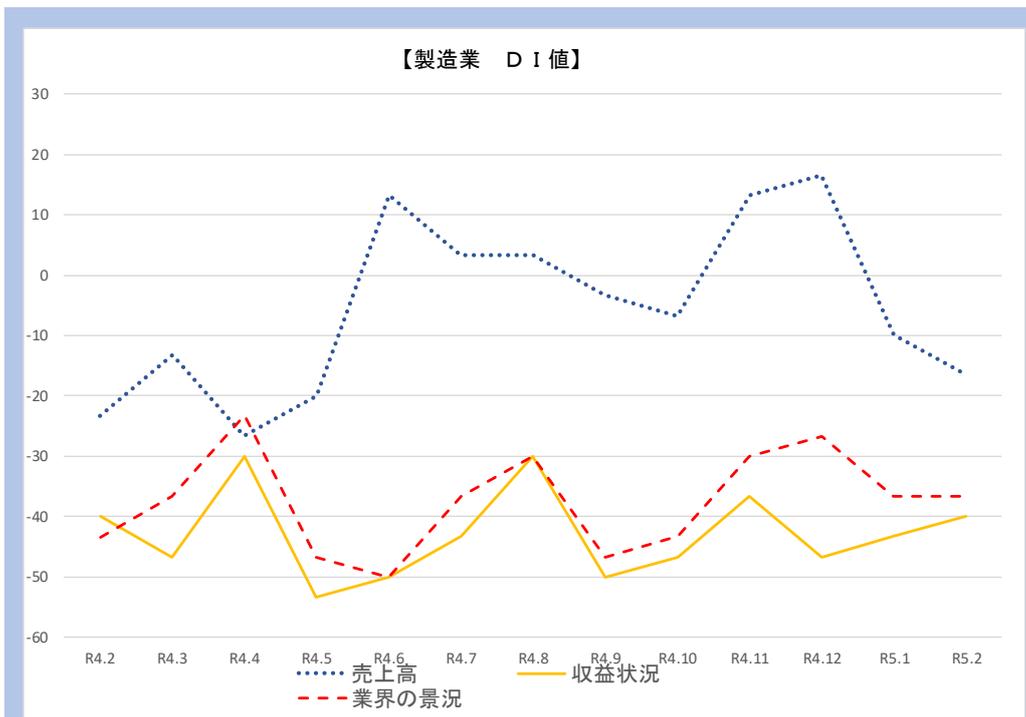
4.主要三指標における DI 値の推移

■ 2022年2月期～2023年2月期までの推移

全体	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2
売上高	-30.0	-6.6	-11.7	3.4	15.3	3.5	5.2	0.0	10.2	8.8	15.5	-10.3	-11.9
収益状況	-40.0	-43.3	-31.7	-35.6	-35.5	-31.0	-29.3	-37.2	-28.9	-29.9	-25.9	-29.3	-30.5
業界の景況	-46.6	-33.4	-26.7	-32.2	-39.0	-29.3	-24.1	-37.3	-30.5	-33.4	-20.7	-38.0	-28.8

製造業	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2
売上高	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6
収益状況	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0
業界の景況	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6

非製造業	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2
売上高	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9
収益状況	-40.0	-33.3	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7
業界の景況	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7



■2022年2月期～2023年2月期までの推移

売上高	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2
製造業	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6
非製造業	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9

収益状況	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2
製造業	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0
非製造業	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7

業界の景況	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2
製造業	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6
非製造業	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7

